



出版 日本橋報社
定価 16000円+税
発行 2017年12月26日

本書は中華人民共和国成立以来、中国共産党員が中国の特色ある社会主义現代化建設の道を切り開き、模索してきた歴史の過程を分析し、中国共産党の指導の下で、中国という人口が多く、歴史が長く、発展レベルが遅れており、地域間の格差が大きい東方の大國がいかに工業化、都市化、現代化を実現し、多層的な社会モデルチェンジと「民を豊かにさせ国を強くさせる」目標を実現したかを反映している。

第2段階の2035～50年には、中国を富強・民主・文明・調和の美しい社会主义現代化强国に築き上げる

いわゆる「全面的完成」とは、総目標の内容をより具体化、明確化、全面化し、経済上の「富強」だけでなく、政治上の「民主」、文化上の「文明」、社会上の「調和」、さらには生態上の「美しさ」をも含め、習近平総書記を中心とする党中央の経済建設・政治建設・文化建设・社会建設・生态文明建設において提起された一連の新理念・新思想・新戦略を十分に体現し、また「五位一体」戦略的配置と目標との間の全面的な連結を十分に体現するものである。

50年までに、中国の1人当たり所得レベル・人間開発レベル・主要な現代化指標を先進国レベルに到達させ、

高校の進学率は95%以上に達し、主要生産年齢人口の高等教育を受けた人の割合は3分の1以上に達し、教育强国・人材強国となるだろう。

生態環境も根本から改善され、生態投資・生態黒字時代に入り、人と自然との調和のとれた発展と現代化建設の新段階に入り、非化石エネルギーが一次エネルギー消費の25%以上を占め、二酸化炭素排出量は大幅に低下し、主要環境指標は根本から改善され、省エネ・エコ産業が新興戦略性産業となるだろう。

中国現代化戦略の「二つの段階」

胡鞍鋼=文

2020年に小康社会（ややゆとりのある社会）の全面的完成を実現した後、いかにして二つ目の百周年の奮闘目標（2035年から今世紀半ばまでに、中国を富強・民主・文明・調和の美しい社会主义現代化強国に築き上げること）を実現するか。どのような戦略的配置と発展のプロセスがあるのか。まだ30年間あるが、この目標を実現するには、長期にわたる段階的な奮闘努



広州の夜景（新華社）

第1段階は2020～35年の社会主义現代化の基本的実現

20年以降、中国の社会主义現代化建設は3回の5カ年計画を経て、基本的に社会主义現代化を実現するだろう。

われわれは中等先進国の基準を1人当たりの国内総生産（GDP）が米国の半分以上と設定している。研究によると、35年にはPPP（購買力平価）を2011年国際ドルで換算した中国人の1人当たりのGDPが米国の半分を超える、51～57%に達する見込みである。16年に中国は中国共产党第16回全国代表大会の報告で提出されたGDPを3倍増（PPP）にするという2020年の目標を前倒しで実現し、今年もまた中国共产党第17回全国代表大会の報告で提起された2020年までに1

力が必要とされる。この過程において、社会主義現代化建設は依然としてテーマであり続け、キーワードは「全面的と継承的、連続的、段階的な関係を持つ」。このため、中国共产党第19回全国代表大会では「二段階」の戦略構想が提起されたのだが、これに対しわれわれは突っ込んだ研究を行ってみたい。

社会主義現代化建設は依然としてテーマであり続け、キーワードは「全面的と継承的、連続的、段階的な関係を持つ」。このため、中国共产党第19回全国代表大会では「二段階」の戦略構想が提起されたのだが、これに対しわれわれは突っ込んだ研究を行ってみたい。

力が必要とされる。この過程において、社会主義現代化建設は依然としてテーマであり続け、キーワードは「全面的と継承的、連続的、段階的な関係を持つ」。このため、中国共产党第19回全国代表大会では「二段階」の戦略構想が提起されたのだが、これに対しわれわれは突っ込んだ研究を行ってみたい。

力が必要とされる。この過程において、社会主義現代化建設は依然としてテーマであり続け、キーワードは「全面的と継承的、連続的、段階的な関係を持つ」。このため、中国共产党第19回全国代表大会では「二段階」の戦略構想が提起されたのだが、これに対しわれわれは突っ込んだ研究を行ってみたい。

すでに中国のGDPの世界全体に対する割合は27・25～31・45%となるだろう。科学技術力が大幅に上昇し、研究・開発（R&D）経費支出のGDPに対する割合は2・8%以上となり、知識密集型サービス業の付加価値はGDPの4分の1ほどを占め、トップクラスのイノベーション型国家となるだろう。

国家の文化ソフトパワーも著しく增强され、全人口をカバーする公共文化サービスシステムが構築され、文化産業が国民経済の重要な支柱産業となり、世界最大の文化市場が形成され、人民の日増しに増えた精神文化需要を満足させて、世界でも独特的な社会主义文化強国をつくり上げることだろう。

経済力の大幅な躍進により、35年までに中国のGDPの世界全体に対する割合は27・25～31・45%となるだろう。科学技術力が大幅に上昇し、研究・開発（R&D）経費支出のGDPに対する割合は2・8%以上となり、知識密集型サービス業の付加価値はGDPの4分の1ほどを占め、トップクラスのイノベーション型国家となるだろう。

国家の文化ソフトパワーも著しく增强され、全人口をカバーする公共文化サービスシステムが構築され、文化産業が国民経済の重要な支柱産業となり、世界最大の文化市場が形成され、人民の日増しに増えた精神文化需要を満足させて、世界でも独特的な社会主义文化強国をつくり上げることだろう。